

202/年 8月3/日(火)

日刊工業新聞 第39回 西日本

古着回収
ワクチン
寄付

商工中金
広島西部支店
協力呼びかけ

【広島】商工中金広島西部支店（広島市西区）は、同店が立地する係強化も狙う。

る流通団地「商工セ ンター」内の協同組合に 作業着や普段着などの 古着の提供を呼びか け、途上国の子どもの ポリオワクチン接種費 用に充てる取り組みを 始めた。国連の持続可 能な開発目標（SDG s）への貢献の一環。 SDGsへの取り組み	センター内の14組合 約500社を対象に古 着の提供を呼びかけ、 9月末をめどに回収。 以降、参加社数や古着 の収集量に応じ、今 後、収集する頻度や仲 地域への拡大などを検 討していく。
---	---

取り組みは、日本リ
ユースシステム（東京
り、古着の回収は、同
具体策を検討してお

都港区)の「古着 de ワクチン」を活用する。同社から購入した古着を詰め返送するとNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じ、途上国へポリオワクチンが寄附される仕組み。

商工中金は、2018年10月に公表した中期経営計画「商工中金経営改革プログラム」で、SDGsへの貢献を掲げる。支店ごとに具体策を検討しており、古着の回収は、同

支店の女性職員の発案。社内で行った結果、有意義な取り組みとして拡大を決めた。

阿曾延晃 広島支店長
兼 広島西部支店長は、
「この取り組みを機に
商工センターに一体感

を醸成していきたい」と期待した。